

令和4年度

はちがた

寄居町立鉢形小学校

国際交流体験



第6学年

特色

- 寄居町は、平成28年から幸せの国といわれるブータン王国と東京2020オリンピック大会に向けて、交流及び強化支援事業を実施してきた。本交流授業は、大会後もより広い分野で交流し、王国と良好な関係を保つとともに、相互の児童生徒の国際理解教育の一環として実施されたものである。
- コーディネーターやボランティアの協力のもと、英語を中心にジェスチャーを交え、オンライン上で交流を図った。

児童の感想

- 学校で身につけてきた英語を使う機会となってよかった。言葉も大事だけどボディランゲージがとても役立つことがわかった。「伝えたい」と思ったことが伝わったときは嬉しかった。もっと外国語を身につけて様々な国の人と伝え合えるようになりたい。

成果

- 時間を追うごとにボディランゲージの重要性に気づき、積極的に伝えよう、交流しようとする姿が見られた。
- ブータン王国の文化や生活様式について意欲的に学ぶことができ、異なる文化を理解しようとする態度が養われた。